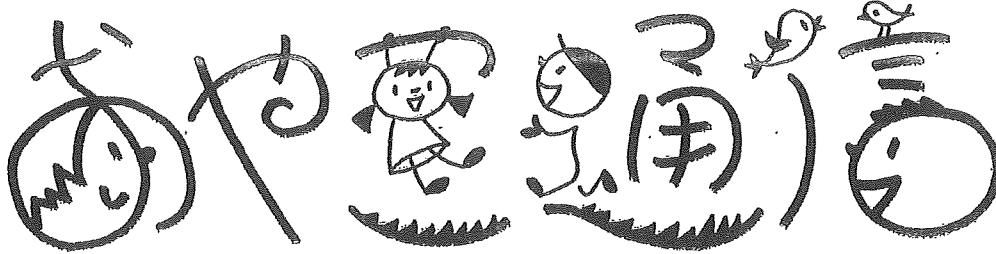


202号

2018/10/25 発行



NPO 法人おやこ劇場松江センター広報部 〒690-0874 松江市中原町 71 番地 TEL/FAX 0852-22-4937

<https://www.facebook.com/oyakomatsue> E-mail oyakomatsue@gmail.com

第 186 回合同例会

/松江市民文化祭事業

スギテツ♪ 音楽会♪

クラシック界の
びっくりばこ！



見て・

聴いて・

感じるクラシック！

〈絵〉景山つくし

〈文字〉金山千紘

11月3日(土) 開演18:30
プラバ大ホール

表紙	合同例会『スギテツ音楽会 きがるにプラボーン』	1
◇ 特集	人形劇団のはな 納富さんとの対談	2-3
◇	地域公演『ともだちげきじょう』感想	4
◇	高学年例会『ネズミの涙』感想	5
◇	低学年例会『魔法使いのおとぎばなし』感想	6
◇	作品情報 『スギテツ音楽会』・『かえるくん・かえるくん』	7
◇	事業報告	8-11
◇	おやこ“あるある”劇場♪・編集後記・ご支援ありがとう	12

劇団のはな 納富俊郎さん インタビュー

2018年、地域公演で人形劇「ともだちげきじょう」を上演してくれた「劇団のはな」の納富俊郎さんに、人形劇の制作に込める思いや子どもたちへのメッセージをインタビューしました！

----納富さんは群読の指導にも力を注いでいらっしゃいますが、群読の魅力とは？

小さい子どもたち向けの劇では、細かい設定をしたり役を深めたりすることよりも、"それらしい動き"を考える。しかし、群読は自分が深く考えていないと教えられません。登場人物の背景をいろいろ考えて、イメージして、それをどう伝えるか…その深める作業がおもしろいなあと思ってね。お話というのは、どんなものなのか自分なりに整理して、いかに自分のものにしていくかが大事です。自分が「おもしろい」と思ったことと、人が思うことは違うかもしれないけど、それを共有するのがまたおもしろい。

----人形劇をつくる時のテーマ、またその際に群読はどのような影響がありますか？

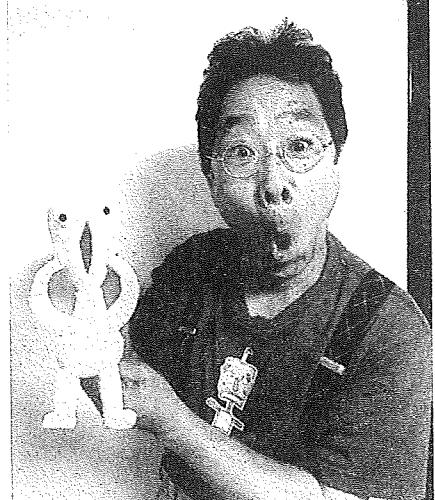
人は一人一人みんな一生懸命生きていて、その中で一つ一つ考えることが違う。私も子どもたちに対している想いがあるし、劇を観ている子どもたち、お母さんたちにも想いがある。そういったものは一つではなくて、お互いにすり合わせながら暮らしている。お話の中の人物を考えるときに、そういうことを理解するのに群読は役に立ちますね。

(納富さんが群読の作品として取り上げた)「ことりをすきになった山」という絵本があります。このお話は、世代を超えて何百年も山を愛し続けた小鳥の話です。ぼくは佐々木正美先生^{*}を尊敬しているんですけれども、99年にお会いした時おっしゃっていたのが、「いろいろな子どもたちの事件や事故があって、原因はさまざまですけれども、共通していることは“孤独”です」ということでした。やっぱり、人は人とつながっていないと問題が起きてしましますから、お母さん、子どもたちを愛してくださいねって。愛し、支えられ、信じることで、人は変わっていくんですよ。それがすばらしいなと思って。アリス・マクラーレンという人は地質学者で、こうして地球が生まれ変わったと言いたかったんだろうけど、えらいもんだなと思って。愛が人を良く変えていくという、とてもいいお話です。(群読でセリフを読む)前の人と私、私と次の人がつながっていく、手をつないでいく。そういった中で絵が浮かび上がってくる、というのがすてきだなと思います。

ぼくは、幸せというのは家の中にあると思う。家で子どもやお父さん、お母さんたちが楽しむ過ごすことによって幸せになってもらいたい、そのためには何か力になりたい…そこから作品を作ろうと思っているんですよ。ぼくは別に人形劇なんて観なくてもいいと思うの。ぼくたちは小さいころ幻燈とか、紙芝居とか、映画とかしか見たことがなかったけど、それでダメになつたか?って、そんなことないのよ。地域のおじさんやおばさんに愛された中で子どもは育つていくし、地域の人が元気だと子どもたちもうれしいのね。

メールリンクの「青い鳥」というお話は、チルチルとミチルというきょうだいが「青い鳥を捕まえたら幸せになれる」と言わせて探しに行きます。そして「ああ！ここに青い鳥がいた！」といって連れて帰ると死んでいる。そんなことを何回も繰り返して、みんな疲れ果てて、しょんぼりして家に帰って座り込んでいたときに、昔から飼っていたカケスが「ピシピシ」と鳴いて、「あ！お兄ちゃん、このカケス青いよ！」って言って、結局家の中にいたと。

幸せは一生懸命探して、努力しないといけないけど、家の中にあるんですよ。幼稚園、保育園の先生によく笑う子のことを聞くと、「お母さんが笑うからよ」と言われます。よく笑う子どものお母さんはよく笑うのね。あんまり笑わない子どものお母さんは、あんまり笑わないよね、と。それでね、幸せは伝染するんですよ！そして不幸も伝染するんです。だから家の中みんなが幸せだと、子どもも幸せになる、これが一番大事なことだと思う。おやこ劇場も、お母さんがしかめ面をしていると良くないです。ニコニコしていると人も集まってきた。ぼくはこんなことばかり言って、あまりテーマみたいなものを押し付けるのは好きじゃないから、感じてもらえばそれでいい。



納富俊郎 プロフィール

1951年長崎県諫早市に生まれる。72年人形劇団ブーク(東京)入団。主に舞台で活動し、70以上の作品に出演。多くは舞台監督も兼ねる。

91年人形劇団ブーク退団、翌年より人形劇団ボボロ、人形劇団ひとみ座、エツコワールドなどで、人形劇の出演。他にテレビやイベントの出演など。侯孝賢監督の映画「戯夢人生」(台湾)に、俳優として出演。

エツコワールド入社。作品の創造と演出・出演・プロデュースと、さまざまな活動を行う。NHKハイビジョン放送「人形千夜一夜物語」に、相原勇とともに孫悟空の人形で司会をつとめる。

97年エツコワールド退社。翌年2月妻(祥子)の実家である北九州に引越して夫婦2人の「人形劇団のはな」を旗揚げする。(HPより抜粋)

----「良い作品」とは、どんなものでしょうか。

「良いもの」とは、まず小さい子どもたちが笑顔になれるもの。「こんなことも知らないといけない」「苦しいだろうけどがんばって…」という深刻なものもありますが、それはもう少し大きくなってからでもいいと思います。小さな子どもたちが生きているこの社会、人生はどんなにすばらしく楽しいものか…そういうことを伝えたいんです。大きい子には人生のつらいことや苦しいこと、悲しいこと、その中で人を愛することのすばらしさ、そんなことを話したいけど、小さな子どもたちにはニコニコ笑ってもらいたい。「みんながこれから歩んでゆく道は、とてもすてきなんだよ!」「楽しいことがたくさん待っているよ!」というのがいいんじゃないかと思います。

そして大事なことは「感じる」ということです。大体、感想というのは「おもしろかった/おもしろくなかった」「好きだった/嫌いだった」「感じた/感じなかった」、この3つだと思います。「おもしろくなかったけど、好きだった」とか、「好きじゃなかったけど、感じるところがあった」とか。特に小さい子どもたちは、目で見たり聞いたりできても「理解する」ということは難しいかもしれない。しかし「感じる」という力がとても強いので、「感じられる作品」をつくらなきゃいけないなと思っていますよ。

----作品作りで工夫されていることは?

動きでどう表現できるかということと、音の世界の声とか音楽なども含めて、いかにその中に変化をつけられるか。群読も読み手が変わると変化していきます。小さい子どもになればなるほど、変化がないとわからなくなっちゃうんですよ。だから動きと言葉の表現の中でどのように変化をつけて、子どもたちが感じられるように入っていくか。テンポやリズムもないと、だらけてしまいます。

もう亡くなった俳優の宇野重吉さんが、息子の寺尾聰に「なんで舞台でなくテレビや映画ばかりに出るんだ」と聞いたら、「お父さん、テレビや映画はアップがあつていいんです。舞台はアップがないじゃないですか」と。すると宇野重吉は「舞台でも観客をこちらに引き寄せねばアップになるんだ」と言つたって。お客様が身を乗り出して、前のめりになつたら「アップになる」と。ずっと同じテンポ、同じリズムでばっかりやつてはいるが、どうならないんだけど、「ここを見せて、ここを聞かせたいな」というときには、アップにするコツがあるんですよ。声の表情とか、顔の表情とか、いろいろやつてあるうちにお客様に教えてもらいました。「よし、ここでアップにしよう!そのためには…」とか、そういうのがおもしろいんですね。宇野重吉さんがそう教えてくれました。

ぼくは人形劇をやっていますが、人形でなくて言葉だけでも、絵を描けるのはすばらしいなと思います。ぼくは小さい頃よくラジオを聞いていたけど、日本には講談とか浪花節とか、いろんな言葉の表現の世界があつてとても豊かです。言葉でどう伝えるか、どう表現するか。それを追求するのはなかなかおもしろいし、難しいんだけど、いろんな声の使い方も含めて楽しいなあ、と。何より人形を作らなくていいですからね(笑)落語なんかの世界でも、おっちょこちよいな人とかいろんな人がいて、だれでも失敗したり間違ったりする。でもそういう人たちも認めて、みんな一緒に住んで暮らしていくっていうお話をだから、あったかいなあ、そういう世界っていいなあ…って思います。

----人形劇の上演を通じて、10年前と比べて子どもたちの変化を感じますか?

「ゆとり世代」後のことと「悟り世代」と呼ぶそうですね。「悟り世代」というのは「悟っている」ということだけど、夢とか希望とかあまりなくて、あきらめてしまっている。将来は年寄りばかりになってしまって、自分たちがお金を出して養わなければいけない…そんなふうにあきらめてしまっている世代だと。私たち大人が作ってしまっているそんな世界の中で、子どもたちが苦労しているというか…もう冒険しなくなっている、そんな気はとてもしています。

やっぱり子どもたちは夢と希望がたくさんあって、その中でいろんな冒險をしたり…という風でなければいけないのに、そうでなくなってしまっているような雰囲気があるのは、変わってきたいるところじゃないかと思います。それは大人自身がそんな風になつていてから子どもも、というか。子どもは大人の真似をするんですよ。大人がお金に振り回されているから子どもも、とかね…そういうことは私たち大人の責任だと感じていて、とても寂しいです。学校の教育なんかでも、先生たちの顔が暗くて笑っている人が少ない。そういうことが影響していると僕は思います。ランドセルの重さが1.5倍になっているとか。いろんなことをいつぱんに詰め込もうとしているところも非常に問題かなと。子どもたちが変わっているかどうかは、社会が変わると必ず子どもも変わる、それは大人の責任だと。だからみんながニコニコ笑って夢と希望を持っていたら、同じように子どももそうなってくるから、まず私たち大人自身がそうなるようにしていかないといけないと思いますね。

※佐々木正美…ささきまさみ 1935年生まれ。日本の児童精神科医。子どもの発達についての児童精神科医としての活動の他に、保育園・幼稚園等と現場で勉強会を重ねていた。「はじまりは愛着から」(福音館書店 2017年)「子どもへのまなざし」(福音館書店 2018年)など著書多数。 2017年6月没。

納富さんおススメの一冊

ことりをすきになった山

アリス マクレーラン (著),
エリック カール (イラスト),
ゆあさ ふみえ (翻訳)
偕成社

世代を超えて長い間小鳥に愛され続けた山が、やがて姿を変えていく物語。「愛し、支えられ、信じることで、人は変わつていく」という普遍的なメッセージが読み取れる。

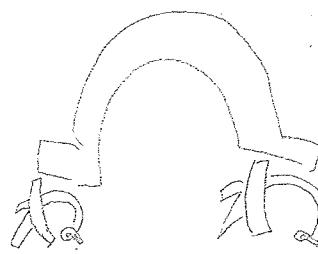


第32回地域子どもフェスティバル

おもしろかったです。

人形劇団ののはな ともだちげきじょう 感想

◎市内5会場で開催・約600人が楽しみました！

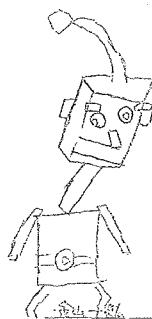


高戸 大晃

今日はありがとうございました。家に帰ったら家にある人形でまねしてみたいです。

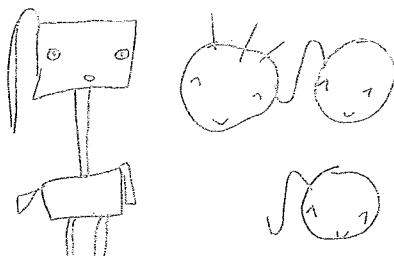
今日は、ありがとうございました。

九州にもどっても がんばってください。（小5）

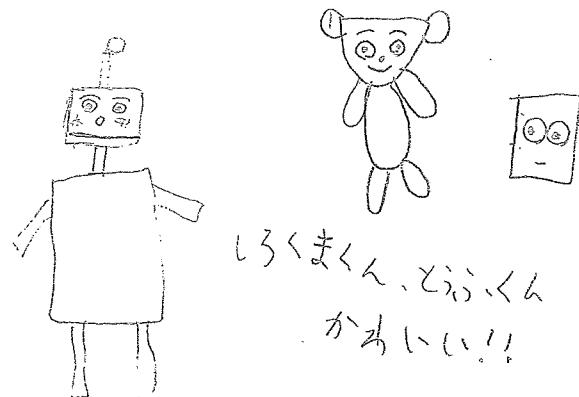


とてもおもしろかったです。
ユニークな人形劇で有難うございました!!

うどんのうーやんをたのしみにしてきました。えほんのままでおもしろかったです。（はじめて、小1、女性）



今日はありがとうございました。人形をあそこまで細かく動かせる事に、驚きました。久しぶりに、童心に返って、見ることができました。ありがとうございました。
(会員、中2、男性)

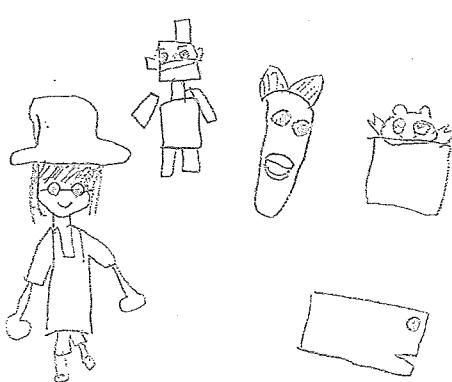


祐源 夏実

とてもおもしろかったです(^^)

ありがとうございました!!

うどん実際に人形が食べているシーンはどうなっているのかびっくりしました。（はじめて、大人、女性）



たのしかったです。2才のこどもも たのしかったです。
(はじめて、小、女性)

今日はありがとうございました。

私は幼稚園の先生を目指しているので、今回の劇は、とても参考になりました。（はじめて、女性、大学1）

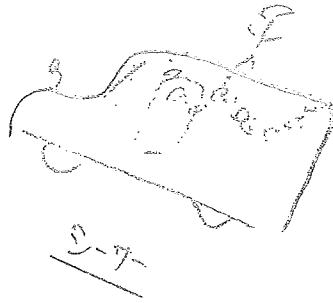
高木 香る

高学年特別例会

オペラシアターこんにゃく座公演

オペラ ネズミの涙

7月17日(火) 18時30分開演 県民会館大ホール



松江市民劇場さんのファミリー例会に初参加しました。

当日、おやこ劇場の子ども達が、米俵・キャンディー・

クッキー・鏡餅などのプレゼント渡しをしました。

力作(!) プレゼントに、劇団の方たちも大喜びでした♡



プレゼント渡しの子ども達！！⇒

県民会館ロビーにて

◎作品の感想やメッセージ

- ・感動しました。とても良かったです。またぜひ見てみたいです。（中2・角南博紀）
- ・とても良かった・また観たい・戦争がなくなるとよい。（中2・シーサー）
- ・感情のふり幅がつよすぎてって感じでした。お笑いは？って感じでした。（中1・女性・会員）
- ・今、学校で戦争について勉強しています。
おそろしいこととしつてるけど、むずかしいことなので、そのことのくわしいことが
げきでつたわってきてよかった。（小6・末吉愉氣丸）
- ・リンとニッケルのピュアな恋物語がとってもキュンキュンしました。（小6・リス）
- ・こんにゃく座さんのピアノ演奏はやはり素晴らしいです。
ですが、重いテーマとお笑いのふり幅に、子ども達はついていけたのだろうかと
思いました。松江ネタは必要だったのか、とも感じた。（おとな）
- ・1まくはせんそうのこととこわかったです。2まくはおもしろいところもありました。
ちょっとむずかしかったけど、とてもたのしかったので、よかったです。（小4・ふくだななえ）

◎心に残ったシーンやセリフ

- ・ネズミの涙は地球より重い。（中2・角南博紀）
- ・私達にむすこはいなかった。むすめはいなかった（小6・末吉愉氣丸）
- ・KISSシーンで、本当にキスするとは思わなかつたから、びっくりしました！
そのあとのニッケルのピースがかわいかつたです！（小6・リス）

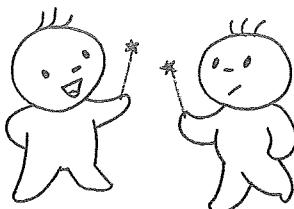
第185回低学年例会

劇団 かかし座

影絵劇 魔法つかいのおとぎばなし

9月29日(土) 16:00開演 プラバホール大會議室

せんたいできに樂しかった
ですまた見に行きたい
です



映像といっしょに影絵をしているのが

すごいな！と思いました。

バックステージツアーのときに、実際に人形にさわらせてもらい、2人で息を合わせて動かすのは、むずかしいというのが分かりました！とてもおもしろくって楽しかったです!! (ペンギン、小6、女性)

かかし座さん、本当にすてきです。

人間の手ひとつで、あんなに世界が広がるとは…

影・光 の使い方がすばらしく本当に美しいです。

影の世界で、叙情が高まり、余韻が深まり、

何かアニメのような絵を見せるよりはるかに、

文学的、ロマンチックです!! 大好きです!!

演者さんが姿を見せた時、髪も上手に

「ビースト」の一部になっていたんだーと

分かり、ほほ笑んでしまいました。

また来てください!!! (以前から、大人、女性)

ハンドマジック(手かけえ)の動きがなめらかで鍛錬されているなど感心しました。

2つのお話は単純だなと思いました。

ウイリーの方は「ママが大好きで、ママってすごい」と素直に信じてくれる小さな子どもの姿を思い起こさせるようでした。

勧善懲惡なストーリーで小さな人にはわかりやすく楽しい作品なのでしょう。

背景のアニメーションの効果もあり、楽しい作品になっていたと思いました。(以前から、大人、女性)

たのしかった

です

うますぎ

ふたりにはいてライオンをいた
ときのせいがきかったです。
かにのかげ絵とライオンのかげ絵
が気に入りました。



おもしろかったです。



またきてください。

おねやか

歌と音楽がわくわくして楽しかった

手かけえは やっぱりすてきですね(大人)

県立美術館での公演も2回とも見ました。

手だけであれだけ素晴らしい表現ができる事に驚けます。

また島根に来られた際はぜひ見に行きたいです！

(はじめて、大人、女性)

いいものですね。影絵の世界を味わえたのですから。

古参会員のひとりで 入会したばかりの作品が「木彫りのオオカミ」だったことを懐かしく思い出していました。一緒に見た子どもたちが成長して今回の例会をどう記憶してゆくのでしょうか。ベテランの男性の方はさすがですね。お声も姿形も間合いもです。

雨の中で少し遅れましたが、おまけの時間もありで感謝しています。

ご準備は雨の中です。大変だったのではないですか。(大人、女性)

おやこ"あるある"劇場♪

画:森のクマ

編集後記

🍁秋に楽しみなこと🍁

東京のイルミネーションの時期に行きたい！と思って何年もたってます。今年はいけるかも？！(K)

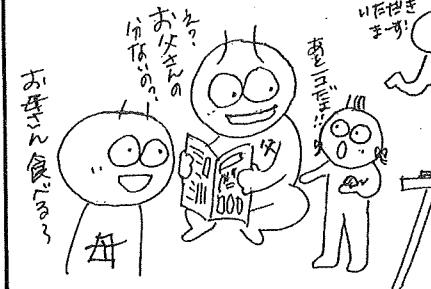
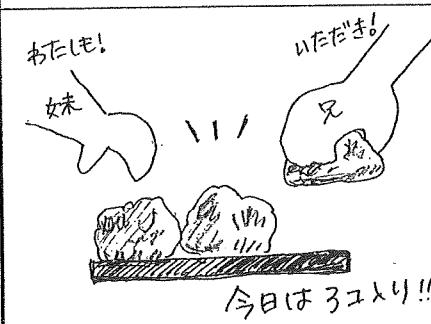
ボチボチこたつが恋しい季節。 実家に帰ってネコのモモちゃんを抱っこするのが楽しみです。(Y)

今年の紅葉ツアーハどこに行こうかな！？
あと楽しみなのが、銀杏のから揚げで～す！！(O!)

長女の紐落とし！勝手がわからず親は右往左往…
本人はやる気満々、着物試着してルンルンお姫様気分！(M)

食慾の秋！！
グルメツアーハ行きたいな～♡ (O2)

10月会員数 246人



おやこ劇場松江センターへのご支援ありがとうございます！

■賛助会員・協力会員・その他ご寄附いただいた皆さま

猪野敏久さま 竹田環枝さま 柳楽圭子さま 牛尾恵利子さま 石橋洋男さま
野中雅子さま 熊野昭子さま 天使のトンボ玉工房さま 田中純子さま 上志智子さま
上志楨さま 金山明子さま 福田郁子さま 又賀恒子さま 矢野玲子さま 佐々木明美さま
株式会社松文オフティックさま 医療法人ばよばよクリニックさま 三輪利春さま
松尾裕子さま 松江プラザホテルさま 宮本洋子さま みるくの会さま 佐々木弘さま
安食かをるさま 塩冶朋江さま 永田仁三さま 五十嵐一浩さま 原田豊己さま 他

子どもたちの豊かな育ちを応援してください！皆さまからの寄附をお願いしております。

※振込の方はこちらをご利用ください。

[郵便振替口座] 01300-5-39364 [山陰合同銀行口座] 本店 普通 3714031

[名義] 特定非営利活動法人おやこ劇場松江センター